

算数科学習指導案（本時案）

単元名：一億までの数

「お客さんは、なんにん？」

（全 11 時間扱い中 第 2 時）

授業日時 2019 年 8 月 28 日（水）第 1 校時

授業学級 3 年東組

授業会場 3 年東組教室

授 業 者

指 導 者

（1）ねらい

児童は、一万より大きな数字を読んだり書いたりできるようになる。

（2）授業のポイント

- ・ 前回の算数の授業で 10000 の位までの数の書き方と読み方を習った。【前時までの子どもの様子】
- ・ 人の数をかぞえる活動を通して、10000 より大きな数を位どりを考えて数えられるようにする。【授業者の手立て】

（3）展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材・◎児童の反応	時間
----	------	--------------------------	----

導入	1. 観客の数をチケットで数える。 問題：この日、お客さんは何人集まっただろう。	<p>★ スクリーンで松本山雅のアルウィンスタジアムの写真を見せる</p> <p>○「記録をとるために正確な人数を知りたい。来場者のチケットを数えることにした。何枚ある？」</p> <p>（意図）一の位まで考えたいので、人よりも数えやすい紙にする。</p> <p>○「どうやったらこの山になったチケットが数えられる？」</p> <p>◎ 並べる、整理する、束にする</p> <p>○「束にした。どうやってよむ？」</p> <p>（意図）前回同様、束の図から考える。</p> <p>★束の図を各自に配る</p>	5
	2. 位を揃える・「万の位」の復習	<p>◎18365 になる！</p> <p>○「どんな表し方があったかな？」</p> <p>（意図）前回はふりかえりながら★チケットの束の図をペンで囲む</p> <p>◎10000 が 10 こ、のやりかたがある。漢数字。</p> <p>ノート→黒板に書いてもらう</p>	5
	3. 十万の位	<p>16 試合分のチケットの数を提示 294728</p> <p>○「チケットはこれだけあった。」</p> <p>（意図）数字を見て読みと意味を考える。</p> <p>◎こんなに来るんだ。位が一つ増えてる。</p> <p>○「ニーキューヨンナナニーハチ枚、でいい？」</p> <p>◎違う、『何万』になる。二十九万四千七百二十八！</p> <p>○「ほんとうにそうなる？どうやったらよめそう？」</p> <p>◎10000 が何こ、、、で考える。位に入れる。漢数字。</p> <p>○「10000 を 10 こ集めた数のことを、十万といいます。」</p> <p>★位の表を貼り、そこに数字（294728）を書きこむ。</p> <p>○「読み方と 100000 がいくつ、、、で書いてみよう。」</p> <p>答え合わせ。</p>	5
	【学習課題】位に注目して、大きな数をよんでみよう。		

展 開	4. 百万、千万の位	<p>定着問題として、松本市の人口 238983 人を提示読み（漢数字）・「100000 が何個、、、」で表す活動をする。</p> <p>ノート→黒板に書いてもらう</p> <p>★位を書いた模造紙の表を用い、位を左に増やしていく</p> <p>○「一万を 10 こ集めた数が十万でした。100000 を 10 こ集めた数を百万といいます。」</p> <p>百万の位として長野県人口 2114140 人を提示し、前問と同じように漢数字・「10000 が何個、、、」で表してみる。ノート→黒板に書いてもらう</p> <p>○「十万を 10 こ集めた数が百万でした。1000000 を 10 こ集めた数を千万といいます。」</p> <p>千万の位として東京都人口 13159388 人を提示し、前問と同じように漢数字・「10000 が何個、、、」で表してみる。ノート→黒板に書いてもらう</p>	3
			3
		<div>【評価（対象）】位どりを考えて 1 万より大きな数字を読んだり書いたりしている（ノート・プリント）</div>	4
終 末	5. まとめ	○「10000 を 10 こ集めた数を十万といいます。 100000 を 10 こ集めた数を百万といいます。 1000000 を 10 こ集めた数を千万といいます。」 （意図）今日の確認をしてから定着問題に入る。	5
	6. 練習問題、答え合わせ	<p>教科書 p71 の⑦、⑧の練習問題から</p> <p>1. 次の数をよみましょう。</p> <p>⑦ 270518</p> <p>⑧ 5609370</p> <p>⑨ 41253000</p> <p>2. 数字でかきましょう。</p> <p>⑦ 四百五十万七千九十一</p> <p>⑧ 二千六十三万四千八百五十</p> <p>をプリントにしたものを配る。</p> <p>出来た人から前に来て答え合わせをし、終わった人から「おたすけ」に行く。</p> <p>ノートを回収する。</p>	10

